

特集

緑と花と小鳥の学校

～坂上小学校 環境緑化の取り組み～

平成22年3月に行われました「全日本学校関係緑化コンクール 学校環境緑化の部」において、坂上小学校が、これまでの環境緑化活動の取り組みを評価され、準特選という賞をいただくことができました。5月23日(日)に神奈川県で開かれます「全国植樹祭」で表彰されることになっています。坂上小学校では、長年にわたり、児童と保護者、教職員、地域が一体となって環境緑化活動に取り組んできました。ここでは、その取り組みをご紹介します。

1. 緑豊かな芝生の校庭を利用した活動

(1) 芝生の校庭を楽しむ活動



坂上小学校では、緑豊かな芝生の校庭を利用して様々な活動を行っています。ふかふかの芝生の感触を味わいながら、休み時間にはこんなふうに友達と草花や生き物を探して楽しんでいます。



芝生の上で行う運動会は、最高です。転んだって痛くありません。裸足で走ったって平気です。さわやかな芝生のおいをかきながら、子どもも保護者も思いっきり汗を流して楽しんでいます。

(2) 芝生を守る活動



芝生を守る活動として、刈った芝の片付けを全校生で行っています。各学年ごとに役割を決め、協力しながら取り組んでいます。



芝生を補充するために、高学年を中心に芝の苗を育てています。外部講師を招き、芝の苗の育て方を教わりました。芝の苗は、学校農園のビニルハウス内ですくすくと育てています。4月中には、移植する予定です。

特集

2. 学校林(なかよしの森)を利用した活動

(1) 学校林の生き物、草花、樹木に親しむ活動



縦割り班ごとに、「なかよしの森」に生息する生き物や草花、樹木を見つける「なかよしの森ビンゴゲーム」をしています。四季を通じて、「なかよしの森」は、様々な姿を見せてくれます。子どもたちは、「なかよしの森」での活動が大好きです。



「なかよしの森」には、落ち葉や朽ち木を集めて作った「こん虫の里」があります。子どもたちが見つけた昆虫の幼虫を「こん虫の里」で育てます。夏には、立派なカブトムシやクワガタを見つけることができます。

(2) 学校林を守る活動



「キノコの広場」では、毎年シイタケ栽培を行っています。クヌギの木に穴を空け、シイタケの駒菌を打ち込みます。主に3・4年生が中心になって活動しています。



「なかよしの森」を守るために、毎週水曜日の清掃の時間を使って「みどり活動」を行っています。「みどり活動」では、学校林の除草作業を中心に、落ち葉掃きや学校農園・花壇の除草なども行っています。

3. 学校農園・花壇を利用した活動



学校農園では、各学年ごとにたくさんの野菜を栽培して、子どもたちの教育活動に役立てています。栽培する野菜は、サツマイモをはじめ、ナス、キュウリ、トマトなど様々です。収穫した野菜は、学年ごとに調理していただいたり、家庭に持ち帰ったりしています。

子どもたちは、苗植えから収穫までの過程を通して、勤労の喜びを味わい、植物を大切に作る気持ちを育てています。

4. 地域との連携を図った活動

(1) 親子奉仕作業



坂上小学校では、5月と9月の2回にわたって親子奉仕作業を実施しています。実施内容は、「なかよしの森」の除草、校庭の側溝のそうじ、樹木の剪定、芝の刈り込み、「なかよしの森」に置くベンチ作り、施設・遊具の補修など多岐にわたっています。PTAと高学年児童、教職員が協力して積極的に取り組み、毎年素晴らしい成果を上げています。保護者は、刈払機やヘッジトリマー、運搬用の軽トラック、のこぎり鎌などを使って、効率よく作業しています。児童の協力も、高学年だけではなく、自主的に参加する低学年児童の姿も年々増えてきています。親子でともに活動することによって、勤労の喜び、両親をはじめ地域の方々への感謝の気持ちなどが養われています。

(2) 地域の指導者を招いての活動



5年生の総合的な学習の時間「日本の伝統的な料理を作ろう」で、地域の指導者に米の生育について指導していただいています。指導者の方は、学区内で農家を営んでおり、豊富な知識と実物を使っての分かりやすい指導で、児童にも大変楽しい活動となっています。

▼問い合わせ先＝坂上小学校 ☎(56) 2074